

秋田市長 様
秋田市議会議長 様

学校給食無償化と安心・安全な地場産の農産物を求める陳情

陳情者 学校給食無償化と安全な食材をめざす秋田市民の会
代表者 田口 則芳(河辺中学校元PTA会長)

(陳情の趣旨)

新型コロナウイルス感染症による経済の悪化、実質賃金が上がらない中、生活必需品の物価高騰が続く子育て世代にとって生活費を捻出することに苦労が続いています。子どもの出生率が全国で最下位が続いている秋田だからこそ、子育て世代が安心して子育てできる環境を整備して欲しいと考えています。そのためにも学校における学校給食の無償化は子育て世代にとって喫緊の課題と言えます。

全国で給食無償化を実施している自治体が広がっています。秋田県内でも現在、湯沢市・男鹿市を含め2市4町3村で、給食費の無償化が実現しています。憲法26条では、「義務教育は無償とする」とあります。義務教育期間でありながら、住む地域で教育負担に格差が生じることはあってはならないことです。

また、物価高騰の中、給食の食材の質が落ちてしまわないかと不安があります。成長過程にある子ども達に、安心・安全な地場産の農産物を活用することを強く求めます。

(陳情項目)

1. 小・中学校の全児童・生徒を対象にした給食無償化を実現してください。
2. 安心・安全な地場産の農産物を活用してください。

氏 名	住 所

*この署名は個人情報保護法に基づき署名の目的以外には使いません

〈取り扱い団体〉 秋田の環境を考える県民の会 (あきかん)

学校給食無償化と安全な食材をめざす秋田市民の会

事務局 〒010-0851 秋田市手形字西谷地211-2-2

新日本婦人の会秋田支部 気付(送り先) TEL 018-836-3356



あきかんHP

秋田市でも学校給食の無償化を 秋田市は子育てしやすい？



◇子どもの出生率が全国で最下位になっている秋田県。
物価高が続き、日々の暮らしが大変です。

「給食費の無償化」は子育て世帯を大事にしてくれる
政策。

◇「財源がないからできない」のではなく、「何を大事
にして、財源を何に使うか」が大切です。

◇県内では2024年現在、湯沢市・男鹿市を含め2市
4町3村が給食費の無償化が実施されています。住ん
んでいる地域で教育負担に差が生じることはあっては
なりません。

学校給食は教育の一環！

◇「義務教育は、これを無償とする」と憲法26条で
定めています。学校給食法は、「給食は子どもの
心身の健全な発達に資するものであり、学校生活を
豊かにするもの」としています。つまり、学校給食
は教育の一環であることを明らかにしています。



子ども達に安全・安心な地場産の食材を！



◇成長期の子ども達に農薬や化学肥料をできるだけ
使わない食材を与えたいものです。

◇国産・地場産そして有機野菜を給食に取り入れる
ことで、農業を守り農業自体も大きく変わる力に
なります。